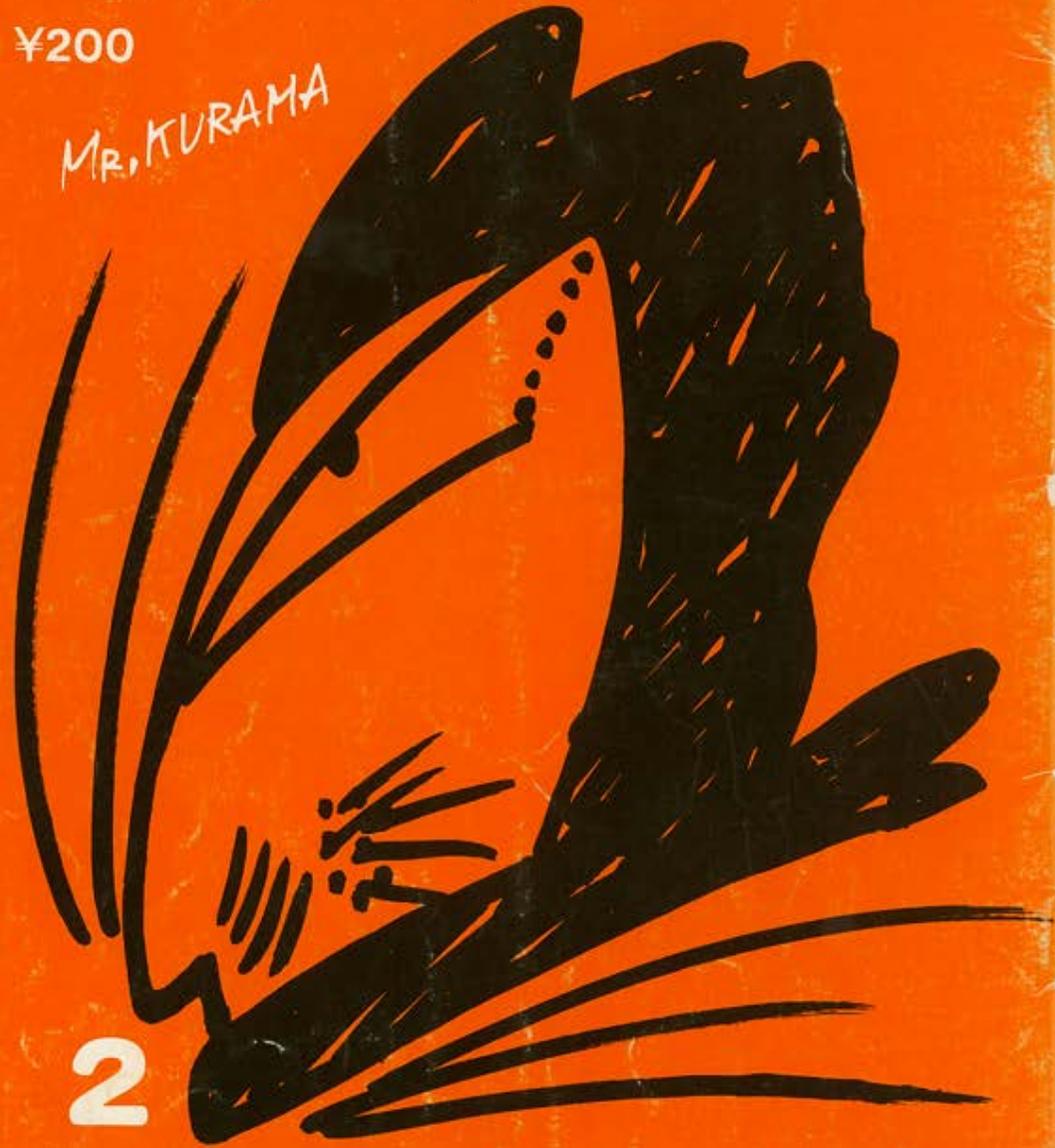


TOWN INFORMATION MAGAZINE

ふいにきた小樽

¥200

MR. KURAMA



2

NOW! NEW HERO



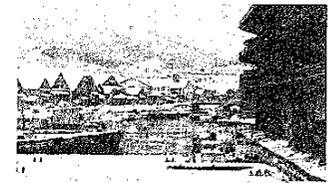
- P.2 OTARU BOY 紀行 山本 誠二
- P.4 インター 宇野 重吉 物語
- P.7 梅の子 長生 田中 晴
- P.8 さらさらの 話 夏川 静江
- P.10 ホウにヒメの 小樽
・出陣の 舟 阿 馬 幸一
- P.13 ロマ 物語 中
- P.14 たしな 坂
- P.18 小樽 鑑賞 の 会
・ 藤田 兵 衛 一 日 記
- P.20 手紙 の 窓
- P.21 1947 年 紀 行
- P.22 1947 年 紀 行
- P.24 Books
- P.25 友に 出 陣
- P.26 INFORMATION
- P.30 PICK UP
- P.31 まち・おせ・あじ



寒いですね
今年も身体に気をつけて……

小樽・八十円紀行

山手線 ぐるり



その朝、もくらは手宮の魚市場近く
 通称「しゃー」というめし屋兼のみ屋で
 焼酎を飲みながら、ブツブツ……
 「このくそ寒いというのに小樽の街を
 散歩しろだって、ひでよなよ」
 あの愛麗長八十円紀行だから、取材費
 八十円だって、本当に八十円しかくれ
 ない。ケチノブツブツ
 先月号はなんだよ、祝津までなら百円
 じゃないか、往復で二百円だぞ、する
 いよな。ブツブツ
 そうだ山手線に乗れば、八十円で帰っ
 てくれる。雪の中を歩かなくていい
 いい！これいいこと。
 と、いった単純理山、横着発想、
 ケチ精神で、スタート！

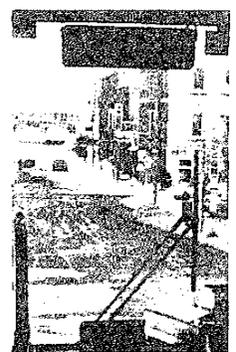
運河沿いをトボトボ、トフトフ。
 いきなり計算違い。
 バス停までは歩くんだったつけ。
 とっても寒い、ヒゲがしぼれる。
 気を紛らすために運河をのぞく。
 さたねえだろうと思つて……
 「オッ！」
 湧水がハスの様にはつている。
 メタンガスも閉じ込められて、
 サワヤカ、キレイ！
 氷の上では、かめめではなく、
 何故か黒いカラスがスケート大会、
 かめめ連はどこへ行ったのか？
 カラスに追い出されたか？
 冬眠か？（無知！）
 倉庫の上のシャチホコ君、
 ウン元気がだ！
 もくらは元気で行く。



堺町の「第一埠頭」でバスを待つ。
 待つ……待つ……待つ……
 待つ……待つ……なかなか来ない。
 これは世の常、一般常識、当り前
 この界限の建物は、なかなかない。
 少し見て歩こう。
 と、思ったけど寒いから、建物に
 びたしへばりついてバスを待つ。
 写真はのんべの本誌カメラマン君に
 まかせて待つ。ひたすら待つ。
 待つ。寒い。寒い。寒い。待つ。



来た。
 急いで乗って運転手さんの後方3番目
 に座る。ここがバスの構造上
 いっちゃん暖かいそうだ。
 本当か暖かわからないけど、
 なんせ、のんべでねほすけの本誌カメ
 ラマン氏から聞いたのだから。



気が付くとバスは、「市民会館通」
 を走って地獄坂をかすめて一気に
 繁華街へ突入！
 海が見えた。
 坂が見えた。ホント。
 一回りしている間に街はもう平常運転
 いっぱい人が乗り込んで来る。
 三井銀行、日本銀行、等々、
 ウォール街を横目でながめ
 終点。



なにやら複雑な信号の交差点を通り
 山側へ。これからずつと上りです。
 もう冬休みも終ったんでしょうか
 早起き学生君達、ちよろちよろ出役。
 駅へ行く人、学校へ行く人。
 東で乗って、東で降りる。
 一人もくらはほとりのこされる。
 そう、朝の緊張感からとりのこされて
 ボケーとして、酒臭い息をして
 寝不足の腐った目して
 寒さのせい、酒のせい、か赤い顔して
 神聖な朝のバスを一人で汚している
 そんな気がする。
 自然と顔は窓にへばりつく。

天狗山が見えてきました。
 さっきまで海にいたのにもう山の上。
 狭い街ですね。そこがいいのです。
 「松ヶ枝町」に着く。ここが頂上。
 ここが小樽の山の手ですか？
 へー！へー！
 たしかに山ですけれどね、
 へー！へー！



さあ、ここから下りです。
 「洗心橋」いい名前の橋ですね！
 と、言う例の、のんべでねほすけで
 すけべな本誌カメラマンの野郎が
 得意そうに
 「この界限はその昔、遊郭があつて、
 遊郭ってわかる？女郎屋、売春屋さん
 わかる？ん？そこへ行った人が
 帰りにこの橋を渡って、心を洗って
 清めて、下界にもどった訳だよ。
 なっ。わかる？」
 無知で無教養のもくらは君、
 と、教えてくれた。
 ホー、これは本当にさかい。
 でもあの、のんべでねほすけですけべ
 てけちな本誌カメラマン様の言う事だ
 からな！

「おつかれ様でした」
 と、かの、のんべでねほすけですけべ
 でけちでこくつぶしの本誌カメラマン
 ちゃんか……
 「また飲みに行こうよ」
 と、無知、無教養、無節操のもくらは……
 「いいですねー」
 と、のんべでねほすけですけべでけち
 でこくつぶしでやくたすの本誌カメ
 ラマンさんが……
 *
 駅待合室の、のれんに向つて
 歩きながら、酔った頭で考える
 俺より先に乗っていて、いっしょに
 降りて、又次のバスを待っていた
 あの老人はどうしてるかな！

音楽酒場
 ぴどりーむ
DREAM
 昭和通り
 花園3-6 TEL33-0892

珈琲の店 居酒屋
海猫屋
 小樽市色内2-2-14 TEL32-2914

自家焙煎珈琲
 ……コーヒーだけの店……
あとリ系
 小樽市稲穂2丁目16番9号
 phone 32-8686

自家焙煎珈琲
 ……コーヒーだけの店……
あとリ系
 小樽市稲穂2丁目16番9号
 phone 32-8686

インタビュー

小樽は再び燃えるか

話し手 三浦 始さん
 手宮で酒屋さんを営んでいます
 通称「三浦のおじさん」
 仕事好きと世話好きで町内では
 有名な

手宮人情物語

編集 こんにちは。昔の小樽のいろんな話を聞かせて下さい。
 三浦さん なんもあんな、たしになるかわかんないけど。
 編 三浦さんは、福島県の出身ですか？
 三 そう、私は福島県の出身で、この家の婿さんで、やって来たんだ。
 編 北海道には、何年頃に渡って来たのですか？
 三 終戦後だから、昭和21年頃かな。
 編 話によりますと、北海道は小樽が最初ではなくて、その前に名寄で材木屋さんをやっていた、そして昭和24年に小樽の手宮に来て、それからずっと今まで酒屋さんをやっているそうですね。
 三 そうそう。
 編 小樽に来た時、最初に受けた印象はどうですか？
 三 いやあ、やはり本当のふるさとの良さというのは、新しく作ったものでは、駄目なわけさ。
 この山あり、川あり、海がある街は、作ってできるものではない。
 ここに来る前に、満州の荒蕪たる原野で生活した事もあるけど、名寄あたりで生活した事もあるけど、最後にこの小樽に来て、落ち着けるといふことは、このすばらしい自然が、この街にあるからだと思うよ。



編 ほんとうに小樽は、風景や街並が美しいですね。
 三 それと同時に、この手宮は人情味があるわ/苦しい時に「がんばれよ」と他人でも言葉をかけてくれる。
 こういふ人情味がね、実に来た当時に感じられたよ。
 編 話がかわりますけど、最近特に、若者と三浦さん位の年長者の人たちとの分離が感じられるのですが、何かその事についての意見はありませんか？
 三 そう、だから私が、あえて若い人たちのところへ飛び込もうとしているのは、そういう事なんだよね。
 私が一つ声を大にして言いたいのは、市の主催する祭り、行事は、全部が企業からの寄付金なんかで処理しているわけだ。ところが、去年の夏に聞かれたポर्टフェスティブルは、寄付金だけの祭りではないんだわ。体からあふれる情熱なんだわ/祭りの終ったあと、私はあと片づけの様子を見に行っただよ。「おーい、いるのか」と言った

ら、「三浦さん、おーい」って、真つ暗闇の向こうから皆がわアアと寄って来た。「まだやっているのか、おまえたち」「いや、もう少して終りだ。」「終つたらジュース飲めや」って二箱ばかりジュースを置いて来たよ。
 この情熱はあんた担得では計算できないんだわ。皆が裸になって、それも真つ黒になって夜の夜中まであと片づけをやっている姿を見て、ほんとうにあの時感激して、涙をこぼしたよ/ホント、あの時の光景を、今の眼界の連中なんかに見せてやりたいよ。
 それに、大人たちがよく「今の若い者は」ってすぐこう言うでしょう。それはかりではないのだと私は言いたいね。編 逆に若者をもて同じ事が言えると思います。「年寄が何を言っているんだ」などと口ぐせにする若者もいますね。
 三 そそそそそ！
 編 お互いに理解し合えるように、もつと努力が必要ですね。それには話し合いの場があってもいいと思います。
 三 そう、あっていいと思う。

編 これからの街づくりにしても、若者の力だけでは頼れない気がします。新しい考えにつけ加えて、古い人たちの体験から生まれた知恵や考えなんかが必要だと思っております。今の子供の遊び方にして、自然で工夫しているものを利用して、アパートに完つているおもちゃなんかを頼つたりするでしょう。
 三 だからね若い者に「大学へいかなくてはいかん」「いい所に就職しなけ

ればいかん」って親たちが、あるいは世間がよく頭からそう言うでしょう。空間というものがなんだよ/空間がないから、自然を使った遊びなんかができなくなってしまうわけだ。
 だから私のところで、終戦後樽みこしを出しているの。20年前前からね。奥さん、うちの子供達がね、一升樽ってこんな小さい樽を担ぎたいと言いついてね、うちの店にいたあんちゃん、その樽に樽みこしをつけてね、この部屋で担がせて遊ばせていたの。その小さな樽みこしを、逆所の子供達があんなりさわりたがるものだから、そんなに皆が喜ぶものならやってみようかといかという事になって、町内で樽みこしが始まったの。
 三 それで、最初うちの方で始まって、5年、6年と過つて、回りの町が始めたり、その次に豊川町とか、いろんな他の町内が始め出したりのね。
 編 20年前まではなかったのですか？
 奥 子供達の樽みこしは戦前もほとんどなかったの。
 三 それから祭りの時、子供にやるおやつは、無駄なものあげなさいと私は思っているよ。
 編 無駄なものを？
 三 そう、無駄で、くだらないものを。奥 くだらないものという意味ではなくて、なんているのかしら、今の親達は、あんまり教育ママが多すぎて、教育に役立たないものは一つでも買つてはいけないうところがあるでしょう。
 三 そう、あるでしょう。

奥 私達もそういうところがあるのね。少しでも頭が働くようなものとか、宇が説めるようになるものとか。そういうものを子供にあずけるでしょう。そうじゃなくて、お祭りなんだから、その日一日だけでも……
 三 その日一日だけでも壊していいよ。うなものを、子供が一番喜ぶようなものを、親が駄目だというようなものを、子供達にやりなさいというわけさ。
 編 はい、意味がわかりました。
 三 わかるでしょ。それら二つの空間もつと自然な空間があるからね。
 編 人々が生活していて、自然に生まれるべき空間ですね。その空間がいまの社会にはないのでね。そしてその自然な空間がある街づくりをやりたいというのが、三浦さんの夢なのですね。三 そうです。



編 今、日本配合飼料小樽工場閉鎖が問題になっています。港灣の機能がうまくいっていないという事が原因だと思えますが、これから小樽の港灣がどのような方向へ行けば良いか、何か意見がありませんか。
 三 もちろん港灣機能は、発展してもしなければならないと思っています。勝内埠頭を理め立てて、市の方で中央埠頭を、重点的に港灣作業を始めるでしょう。そうすると、第二、第三埠頭で何をやるんだというとき、それに石狩湾新港なんかできて、今まで小樽に入っていた荷物は当然少なくなるわけだね。小樽市の理事者が、今まで小樽に入っていた荷物は、これから小樽の港に入ってくるように要請するということになっていくけれど、石狩の方に入つた方が運賃が安いという事になれば、そんな要請では駄目なんだわ。利益だけを追求する商社はやりにくい石狩の方へ入りますよ。そういう事から考えた時に、今の第二、第三埠頭はどうするのだから、これからは勝内埠頭の方だけで、荷物をまかないされるのだから、私は第三埠頭を観光の港にしなさいと言ふのさ。それに祝津・高島の船付き場も当然の事遊覧船でも作つて観光の港にすればいいのさ。
 編 そうなると運河も観光資源として残さなければいけませんね。
 三 そりゃ絶対残さなきゃいけないよ。市では半分以上、半分残すなんて言っているけれど、言つたらちゃんとした事は駄目なんだって言うのさ！

編 中途半端ではいけないという事で三浦さん、市で中途半端な計画ばかり立てて、どれもこれも失敗しているでないので、駅前開発も、水族館も、朝里温泉も皆中途半端で失敗している。少し反省したらどうだということさ。
 三 そうなると運河も観光資源として残さなければいけませんね。
 三 そりゃ絶対残さなきゃいけないよ。市では半分以上、半分残すなんて言っているけれど、言つたらちゃんとした事は駄目なんだって言うのさ！



編 最近、大きなスーパーマーケットなんかがどんどん増えてきて、昔からの市場や、小さな商店なんかが営業に影響を受けていると思いませんか？

三 まあ私の商売は酒屋だから多少は安泰だけど、いっとうなるかはわかりません。ただ私達のように、本当に小さい零細業者は、どんなに大型店が出よう、細くならはしないという事さ、奥 手宮にスーパーなんかでできた頃、うちの店の売り上げが、ガタッと下ったの。アパート住いの若い娘さんなんか、うちの前の、おしよ油の瓶を隠すようにして通るの。でも昔ながら付き合っているお客さんなんかは、高くていいから「届けてね」って言うてくれるの。

編 商売にしてもお金だけの問題ではないです。商品とお金の取り引き以上に大事なものがあると思っています。奥 そのかわりうちの父さんが配達に出ると長いよ。「毎度、こんにちは、はい」なんかじゃ帰ってこないんだから。配達先におばあちゃんなんかいると、「三浦さん、甘いものがあるから上がんなさい、まんじゅうあるよ、羊かんあるよ」って調子でね（大笑い）編 個人的な事ですけど、僕の家の商売が八百屋なんです。やはりスーパーの進出で売り上げがかなり下つたんです。それでどうしようかと考えて、お得意さんを残しているかという、本当に小さな客への心づかいなんです。たとえは、みかん一箱でも、時には大根一本でも配達してあげるとか、少しでも新鮮な野菜を、味のいい果物を仕

入れてくるように心がけるとか、そんな事を大切にしています。それと、商売以外にでも客と付き合えるような関係が必要だと思います。

三 そうだ、そうだ。私なんかでも配達に出て、「こんにちは、やあしばらく、おしよちゃん元気か」とか、「おばあちゃん達者かい」とかそういう世間話でもしながら商売していく。そういうつながりは大事だと思うよ。それが我々零細業者の生きる道でないの。

編 私達の街づくりも、こんなふうにしてつなげていかなくてはいけないと思いませんか？

三 そうそう。

それには、ある程度古いものを残しておく事が大事だよ。

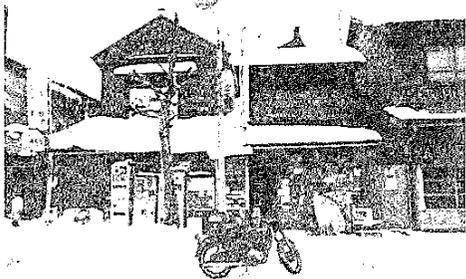
今年の正月に、うちの家をどこかのおばあちゃん立ち止って見ているわけさ。よその家はやっぱり新しくきれいになっているけど、うちの家は昔からのままで、2階には格子戸があつて、石蔵もあるんだよ。それを見ておばあちゃんに私に、「あらあー三浦さん、まだあつた？」（まだ昔のままで残っていたという意味）「まだあつたもねえだろう、どっからきたのよ」はい、私10代の頃、九州に引っ越したんで、よ、子供の時、この近くに住んでいて、よく三浦さんの店にたばこを買ってこされたんですよ。って懐しそうに話してくれたよ。たまたま係さんを尋ねて小樽に帰って来たわけさ。そんなお客さんが年に何人もいますよ。

編 へえ！

奥 あのね、お盆の時なんか楽しい位よ。たとえば、お宅のお姉さんと友達だったとか、お宅のおばあちゃんか昔こうしてくれたとかね。私は全然知らない顔の人だけども。そんな人たちがお盆の時なんか必ずやって来るのよ。三 だからそれがいいって言うのさ。奥 うちの親達がよく言っていたよ。小樽は戦争当時、空襲にも会わなかったし、海があるのに津波にも会わなかったし、山があるのに出くすれもなかったし、こんないい街はないの！

三 そう、小樽には自然があるの！

奥 本当に小樽は天災もない、風景も素晴らしいし、どうしてもっと観光に売り出さないのかね。それにはもっと若い人の力が必要だ。



奥 あなた、商大生？

編 いえ、一応働いています。

奥 社会人なの、若いわねえし。

編 ……………（恥ずかしがる）

三 オレもあと30才位若かりゃあんだ達と、商売投げても走り回るけどな。奥 だいぶ投げたんだよ。去年のポーターフェスティバルの時に商売をね。編 そうですか。（あやまるように）三浦さん、何か趣味は？

三 私は無趣味なの。でも嫌いじゃないの。今は商売の方が忙しくてね。息子が油絵を描いているから、これかたぜひ息子を絵を習ってね、一つやってみたいと思うよ。

奥 あなた、何やっているの。

編 僕は唄を少し……

奥 フォークかい？

編 ええ、まあそんなもんです。自分で詩を書いて、ギターに合わせて歌うのですけど。

三 そりゃいいんでしょう。うちの家内もね、詩を書いたりするのが大好きでね、よく私がどこかに発表したらと言うのだけど、恥ずかしがり発表しないんだよ。（笑い）でもそういう趣味を持つことは大事だと思うよ。それが心のささえとなつてだね。心が豊になれば素晴らしいと思うよ。

編 今日はお話になる話がありがとうございます。また来ます。

三 私も、あなた達若い人がやっている以上は、陰の力となつてできる限り力を貸すよ。まあ、がんばって頂戴！編 はい。

叫児様佐々木君が来て、老人の小樽っ子の思い出を書けと言う。

悪い癖である。年寄りの繰り言が何の役に立つ事か。と言つて断るのも曲がない。

一口に、太っ腹で大きっぱで、それで情があつたと言えは過ぎるかな。

小樽商議院陳情に、文部省に出向いた区会議員団（まだ小樽市にならなかつた頃）が、何の都合もなしにその中の一人のいふりこぎが、敷地の方は地元で引受けることにしますと言明して、その場で小樽設置を決定した逸話がある。

明治末年の二十万円と言ふ金だから、今の金にして相当の金額であつたに違いない。

当然の事、帰つてから大もめしたが、なんとかまとめられて、全国五番目の後の名門小樽高等商業学校が出来た話など、今の人には考えも及ばないところであらう。

儲かつた。儲かつたのが当り前なんだから話事大ざつぱだった。

今に残る富岡町の立正校成会の建物奥沢の寿原邸。何れも海産商と米商が金に飽かして建てたもので、面白い事にどつちも完成を見ない前に没落して折角出来上がった豪壮な建物が別の人の住居になつてしまつた。

然し、建物は北の街の住宅としては、道内屈指の名建築として今に残っている訳だ。今の人ならそんな出鱈目なと言つたらうか。

剛腹とも言えよう。

樽っ子気性

田辺 順



近頃はとんとこんな馬鹿げた事を考へる奴はない。然しその馬鹿げた奴が居なくなつて小樽は沈滞の方向に向かつたと言えないだらうか。

代議士も一期つとめた事のある寺田省庵と言ふ大長老が居られた。

実によく人を束めた人で、当然色々な話を持ち込まれたが、その話が玉石混交であまりいい話ばかりではなかつたが、小樽に役立つと信じて一言がある、大先生よかろうとばかりに印を捺すし、

銀行にも足を運んで話をつけて呉れると言ふことで大変なものであつたから漸くとなつた後、農林省水産局長であつた後嗣がひどい目にあつた後日話が残されている程である。

ともかく、何よりも小樽のためになると言ふことでありさすれば、よからうであつた。

こんな人も居たものだ。

遊びの方でも同じ事で、人あつて放蕩史みたいなものを著くとすれば間違いない登場するだらう人が、二人三人はいたであらう。

術はずれの愉快な逢方もない遊びの話が残っているものである。

儲かつたから費つた。儲かつたから遊んだとばかり言ひ切れないものが昔の人にもあつたと思ふが、近頃はそんな話は絶えてない。

時勢の変わった故もあるが、近頃の小樽人はちと賢くさがる。

己を守る事にきやうきやうとして、眼中故里小樽などあるものでない。と言ふのが年寄りの嘆きである。

ところが、近頃その下の若い人達が逢方もない事を次々に企てられる。ポーターフェスティバルがそれだし、天狗山のウインターフェスティバルもそれである。

そこいらに新しい小樽っ子の意地と情熱が吹き出しているのを感じられて、限りない嬉しさを感ずる。

温故知新 昔を語ることに必ずしも無意味でない。

ANTIQUE & HAND MADE

小樽市稲穂2丁目17番17号 ☎ 34-0040

戲屋留堂

フジカラーチェーンラボ

FUJICOLOR

フジカラー

CHAIN LABO

小樽現像所

■ かけがえのないカラー写真は！

純正仕上げのフジカラーチェーン店に

小生、小樽で生まれ育ち、商業高校を卒業して現在はいしがない公務員として糊口をしのいでいる身、それがどうしてポートフェスティバルから夢街へとかわっていったか、極めて個人的な哀話。

友人の結婚式の発起人会で、さる喫茶店のマスターと出会う。これがそもその始まり……

「婚礼が終わってマスターいわく「小樽に港の祭が無いのがおかしい。港で運河と水辺を生かした祭をやりたいので、やってみないか？」
小樽の子の例にもれず、祭好きで根がおめでたい方なので「いいねえ、やろう、やろう」深く考えもせず、単純胞的、不和雷同（あ、何たる軽薄さ）

サラリーマン、学生、自営業、自由業（早く言うるとルンペン）などなど、30人近い若者が結集してケンケン、カクガク、いやはや仲々の壮観ではあります。
「俺、何すればいいの？」

資金ゼロなので、Tシャツとタオルを販売して運営資金の一部にする。その他にも竜宮神社、水天宮神社の祭にピアガーデンの開催、サンビルでのロックコンサート、広告寄付集め……
「どうだ、俺なんざTシャツ、タオル合わせて一〇〇枚も売った！」
「女の子でタオル一五〇枚売ったのがいるよ。」

祭の真最中。「死体があがった。すぐ来い！」
かけつけたと男の死体の側で警察が現場検証の真最中。祭の警備責任者としてはもうマッサオ。
実行委員長と3人で前後乗協議、3人とも顔面蒼白。
万一にそなえて一〇〇万円の傷害保険を会場一体につけておいたので、金銭面ではいくらかの保証も、しかし金銭で片づく問題ではなく、切腹してお詫びせねばと思つた。（前時代の？）
検証の結果、祭とは関係無い事がわかる。それまでの数時間、生きた心地がしなかった。

祭が終わって後片付け、午後11時頃一旦中止して宿舎へ戻る途中、近くのおじいさんが「あんたら、ずい分よこれてえ、家でシャワー使いなさい！」
汗とほこりにまみれて何日も風呂に入つてなかつたので、人の情けが感しく、ありがたなくて、シャワーを使いながら涙が出そうになった。
食事に行った連中が、ラーメンを食べたら、そこのおかみさんが祭のTシャツを見て「頑強なさいよ」と一〇〇円寄付してくれたと言ふ。
小樽は人情の街って言うけど本当だ！

祭は終わった。

随分いろんな事があって、多くの経験をつむ事が出来た。運河周辺は賛否両論かまびすしいので、一部にも迷惑の

ぶっちゃけた話

黒川 幸博

……途端にじよばくれて、やっぱり女にやかなわんなあー」ため息しばしてありました。あ、女は強い！
会場借りののに、市港湾部、土木部財務部、警察、土木現業所と各役所回り、多少、迂余曲折はあったものの、予想外に好意的でこちらがびびったり、借りられるとは思ってなかった。
日本のお役所も意外と親切なんだなあ。

街頭で、祭のチラシを2日間、朝夕配布した。心良く受け取って興味らしきものを示してくれるのは中年以上の人が多い。特に「おばさん」達など。
「これ何？」「そう、「御苦勞さん」反対に駄目なのが若いOLと高校生。OLは若いいい男に対しては本心と反対の行動をとる。
いい男のそばには行きたがらんもんです。テレ込んだなきつと、わかるよその気持ち、可愛いな！
高校生なんぞ、ピラ渡そうとすると、アッチ向いてホイの無視！無視！
めんこくくないこと、まあ、この！

かかった事もあると聞いた。深く詫び至します。ともかく結果としては成功の部類に入らと思う。
今は祭を事故もなく終える事が出来て感謝 感謝
多くの若者市民が参加してくれた事に感謝 感謝
ビール腹を切らずに済んだ事に感謝 感謝
メンバーの一人いわく、「祭が成功したけど、あれは奇跡だよ。俺達本当に運が良かっただけに過ぎない。
本当ならメタメタだよ」でも、運も実力のうち。かもね。



8月のある日、喫茶店のカウンター
マスターいわく
「ポートは終わったけど、運河問題を合めてもっと大きな眼で小樽の街を見

ステージ作るのにせー、枚位の大きさをの建築用パネルを、トラックに一〇〇枚位積んで会場に運ぶ途中。
本局前の交差点を曲がった途端、パーンという爆弾でも落ちた様なすごい音あわてて急停止。
パネル20枚位、荷くずれて交差点にぶちまけてしまった。道行く運転手に怒られ、何事かと諦めながらの注視を浴びながら後かたずけ。
カッコ悪くて冷汗たらたら流しながらもうメロメロ、でも別にこれと言った事故もなく不幸中のさいかい。
祭前日、メリスマフッシュエマージェットに集合した面々。明日が祭だと言ふのに資金のメド立たず、設備の準備整わず、運営の方もメタメタ、赤字負担一人2方とも5方とも。
「どうなんだよ、俺、もう店たんだ岐草の田舎へ夜逃げするよ。」メンバーの一人。
「あんたはいいよ、帰るとこあるから俺達どうすんだよー」小樽しか帰るとこ無いんだぞ、夜逃げ出来る奴あいいよ。」かくて夜は更けていった……

つめて行つてき、皆んな将来に對する夢を持つてただろう。その夢を小樽で実現して行くにはどうしたらいいか、いわば小樽を夢のかなう街にする為にこれから運動して行かないか？」
「ふーん」
「小樽には独自の文化があったし、今でもその当時の香りが一杯残つてんだよ。運河の倉庫、旧い街並、坂の多い市街、そして人情、いわば夢をかなえるのに絶好の街なんだよ。この街は「へーえ」
「誰でも将来に對する夢を持つてたろ、自分が生まれ育つた街でそれを実現させて行くんだよ。手づくりの文化って言うか、人の心の香りって言うか、具体的に何をやるのか、まだ俺もわからないけど、50年60年先を考えて息水くやつて行きたいんだよ」
「へーえ」
「この街で育つたものが、この街を出て行く事なく食べる様にするにはどうしたらいいか、一緒に考えて行くんだよ。若い者が食う為に街を出なくてもいい様にだよ」
「ふーん」
「オイノ聞いてんのかよ。若い奴が出て行ったら嫁さんにする女もいなくなつちまうんだぞ」
「そしたらオマエどうすんだよ」
「エーッ、やる、やる、やるよ俺」
（どうも動機が不純で……）

かくて、その後毎週一度の実行委員会に、ポートに引き続き参加する事になった。

「うるせえ、オイ君達、良く来てくれた、我胸にひしと抱き熱き抱擁」
感謝の気持ちさ！
エーッ何？ 君達男？！
実行委員会の予想に全く反して、夜に入ると人、人、人、人の波。
「愛だなあ、何でこんなに人が来るんだ？ お前わかるか？」
「うん、俺もわかんなえ」
頼り無い実行委員ではあります。

祭の準備の為に会社をクビになったのか、自分でやめたのかともかく会社とオサラバして打ち込んだ人、会場の受け付けで一日中坐りっぱなしで2日間も続けたためとうとう倒れてしまった人、わざわざ美眼から何度も足を運んだ人、もう皆んなガッツだと言うか、バカだと言うかようやるよ。
俺なんか自分が可愛いから程々にしかやんなかったもんね。反省。

祭の期間中、前後と運河の側に宿舎を借りてずっと泊まり込み。
期間中2人1組交替で徹夜で会場パトロール、祭2日目の早朝、眠い目をこすりながら新聞各紙を開く、道新、朝日の大きき表紙に食い入るように見つめる。「やるじゃない、手づくりの祭り」の天見出しに泊まり込んでいた20名近い若者大歓声。
胸がジーンと熱くなって、みんなで、「今日も頑張りー！」

小樽は余り長い間眠り続けていた。俺はこの街で生まれ育ち、この街に骨をすめたい。小樽の子の美人を嫁さんにし、子供もこの街で働く事が出来たらどんなに素晴らしい事だろう。
俺が市長であれば、あるいは財界要人であればもっとと市民の為の、小樽百年の計を考えて街づくりをしてやるのにと、思うがいかにせん、金と地位がまるで無し、残念ながら意欲はあっても、金と名譽のない男にはお呼びがかららない。残念無念。
精々出来る事と言つたら、自分の夢を実現する為に夢街実行委で頑張るのだ。旧い街並を生かして未来とつなげて行く。運河や倉庫群を再利用し、札幌から買物客を呼び寄せ、小樽人がガッツポ、ガッツ儲けるにはどういう風にするかは良いのだから。
18万人が食つていくにはどんな産業が必要なのか？
俺達自身で雇用の創り出して行く事がまちがったら出来るんじゃないか？手づくり工芸品の職人と呼び寄せ、一大産地にするのも面白いなあ。
ヨットハーバー、海中公園、近効の山や海を生かして、市民の為のレクリエーションセンターなんかいい。
夢を考えていったらきりが無い。
とにかく行動を開始するのだ。
今、必要なのはドン・キ・ホーテ的な行動力、三人寄れば文珠の知恵。
現在には40名余り。
未来に夢を描いて、空中分解するかも知れないけど、やって見るのだ。
今は楽しい、夢を見ている事が出来るから。

僕にとつての小樽

出戻り者の弁

対馬 幸一

冬が近くなると、僕はそのなつかしい国のことを考えて、深い感動に扱えられていた。そこには運河と倉庫と税関と棧橋がある。

そこでは人は重々苦しい空の下を、どれも背をまげて歩いている。僕は何処を歩いていようか、どの人をも知っている。赤い断層を廻らに見せている階段のように、山にせり上がっている街を、僕はどんなに愛しているか分らない。

冒頭から人の作品を持ち出して申し分けありませんが、これは、小林多喜二が東京に住む女性の友人に宛てた手紙の中の一文です。旭展望台にある多喜二文学碑の壁面に刻まれているこの文を、僕は最近まで知りませんでした。

この文に初めて接して、僕は、多喜二が単に虐殺されたプロレタリア作家と言う言葉だけでは言い表せない人間の暖かみを持った人間であつたと思うのですが、多喜二と同じように、僕もまた、そのなつかしい国「小樽」の街をどんなに愛しているか分らないのです。

僕は小樽の手宮で生まれました。僕の家は坂の途中にあるため、坂の上の方は二階建てで、下の方は三階建て

一日そこに行かないと何だか落ち着かないのです。何故こうなつたのだろう。やっぱりその店のマスターと奥さんが大変いい人で、そこに来る人も皆んない人で一緒にしゃべりしてると楽しくなるからだと思います。僕に想いと安らぎと楽しみを与えてくれる人達の集まる場所、M。

いい場所にはいい人が集まって来るのさ。さらに人について言えば、「小樽の女性は情が深い」と言う話を聞いた事があるけど、その辺の議論は中年のおじさんにまかせておこう。

というちよつと面白い格好になつていきます。二階の窓を開けると眼の前に手宮富土がそびえ立ち、三階の窓から眺めると、手宮公園の緑と赤茶けた崖、赤岩の山、そして斜面に沿つてせり上がった家々が眼に入りま

僕はこの家で子供時代から青年時代まで過ごし、時々窓から見える景色をほんやり眺めたものでした。そして高校を卒業した後、十八年間生活した家を出て仙台の大学へ行きました。

小樽を離れたのは、やはり家族と離れて一人暮らしをしたかつたからなんだと思います。津軽海峡を渡つて内地で生活していても、小樽の事は常に心の片隅に残っていました。

仙台での生活七年間、そして、去年の四月再び小樽に戻つて来て、また住み慣れた家へ暮らしています。

花園十字街までの登りを登つたと思つたら今度は入舟十字街まで下る。また登り坂になつて住吉神社前の頂上に達し、それから奥沢十字街まで下り、少し平坦地を走つた後、潮見台まで登つて小樽築港駅前へ下り、トンネルをくぐつて線からまた登る。車はちやうどサイン曲線に沿つて上下する。

その国道に交わる路は、小樽港から山々に向かつてみんな坂道になつていて、それらの坂道を登る途中で足を止めて振り返れば、市街地とそのむこうに港が見える。

小樽には自然の展望台が数多くあります。東小樽の岸つ緑を通る国道、札幌バイパス、天狗山、三角山、手宮富士、石蹴山、手宮公園、赤岩、どれをとつても、その場所から眼の前に広がる街並を港を、その光景は素晴らしいものです。

人は素晴らしい風景を眼のあたりにした時、落ち着いた素直な気持ちを抱くものです。その時の人間は、きつとやさしい目をしているに違いありません。そう言つた人の心を素直にする風景を数多く持つ小樽の街は、やっぱり大変魅力ある街と言う事ができます。

中を走り廻っています。思い出せば、大学の休みには必ず帰つて来ました。一年間の休みは3回だから計21回小樽へ仙台間を往復したことになりまし。小樽に帰つて来る時の列車は大体決まつていて、仙台を夜たつて、ミッドナイト便の青函連絡船に乗り、函館を明け方出発する小樽廻りの特急「北海」に乗ります。

僕が汽車で帰つて来て、小樽を意識しだすのは、辛路とニセコの間山々が見えて来て、但知安駅を過ぎる頃からです。あと一時間で小樽に着く。小沢、銀山、仁木、余市を過ぎると海が眼に入ると、蘭島のトンネルをくぐり高音に出ると、眼の前に広がる塩谷の浜。やがて国道5号線を走る車と並行して汽車が進み、前方に見えてくる手宮富土。

汽車の窓はるかに北に、ふるさとの山見えれば襟を正すも、僕が13年間の旅のあと、ようやく小樽に着いたなあと全身で感じるのは、僕にとつてのふるさと山の手宮富土が見えて来た時であり、その時、僕は気を引き締める。



例えは長く伸びた髪を見苦しくない程度に切り、例えは仙台を飛つた日に新しく服やコートを買ひ、それを着るつまり身形を整えて、格好つけて小樽に帰るという事がありません。何故、小樽に帰る時そんな自分の格好を気にするのかよくわからないのですが、それで考えてみました。

一般的に、街の魅力、って何かと訊かれた場合、その街に住む人達の魅力と、その街の持つ風景の魅力に分けて答えられると思います。

小樽に住む人の魅力って言うのは、よくわからないけど、たぶん言う事は言えます。僕の家から歩いて一分ぐらいのところに、M。という喫茶店があります。僕はそこにいつも数ヶ月程前から通ひ始め、今では毎日行つています。そこに行つてカウンターに坐つて店の人と話す事が毎晩寝る前に歯を磨く事のように日課になつてしまいました。

とつて、これまで述べて来たのは小樽の街の風景の魅力、言つてみれば視覚への訴える魅力であつたけど、もっと突っ込んで肌で魅力を感じる場所はないだろうか、つまり目で見る風景の魅力だけでなく、その場にいる事によつて感覚に訴えかけてくるような魅力を与えてくれる場所。

僕は毎朝、豊川町の「Y製麵」から勝納町の青果御市場まで、運河と石造倉庫を左右に見て、うどん、そば、ラーメンの入つた折を何枚も重ね、バイクで配達しているんだけど、運河の北の端から見る景色は、運河と倉庫群が左右にわん曲しているだけに特に冬の場合、倉庫の屋根に積もつた雪と、倉庫の石の壁が遠くまで連続的に連なっている様子、運河に浮かぶ雪をかぶつた岸、その背景にある奥沢の山並も加わつてとても素晴らしいのです。

運河と倉庫群が小樽にとってどういう意味を持ってきたのか考えてみると昔は、多喜二の小説にも出てくる様に港湾機能として船と人夫が重要な役割を担っていた時代には、機能的にはなくてはならないものだっただろう。その役割が埠頭の近代機械設備によって変わられた現在、機能的にはたいして価値のないものになってしまったけれど（倉庫は今でも貯蔵施設として重要な役割を持っているそうだが）人間の心に関わる次元では立派に働いていると思います。

人間にとって物質的な意味での便利さや都合の良さと言うのは大事だと思うけど、それと同程度、あるいはそれ以上に人間の感性に情緒も大切なものだと思います。

言葉をかえれば、人間が安らぎや憩いや落ち着いた気持ちを抱くことのできる機会をもつと持たなければならぬ、と言う事であり、そのために、そういう気持ちの持つ事のできる場所空間を提供すべきなのです。

運河と倉庫群の建ち並ぶあの空間は、すべての人々にとってくつろげる場所になり得るのです。

小樽の街づくりを考えて行く上で、まず小樽の現状に眼を向ければ、20万都市として労働力人口を充足させるだけの企業は確かに不足していると思います。日記小樽工場の問題もあり、雇用問題は深刻であるからこそ考えなければならず、地場産業の育成は重要な課題です。でも恥ずかしなからこの

「ウォッカもう一本もらおうかな？」と思いつつ、友人がクツの底の様なステークと格闘しているのを見て「ロシアに来てはいるんだなあ」としみじみ思った。

横浜を出てから四日目、モスクワである。「思えば遙か我祖國、いつの日にか帰らん。」などと目を熱くし、機目でもう小一時間友人もクツの底と格闘して汗だくの友人を見て「日本人のあごも軟弱になったものだ、昭和三十年代の人間はだめだなあ」とま

問題は勉強不足であり言えませんが、余暇施設はどうでしょう。映画館や体育館や娯楽設備はまあ充分だと思えます。

ただ、動物園と遊園地が欲しいです。「マノミ座」がなくなった事については何とも言えませんが……

でも、健全なスポーツに関するれば、夏は蘭島、塩谷、祝津、豊井、東小樽、朝里、鏡山、朝里海水浴場は豊富だし、冬は天狗園、朝里ホワイトパレードでスキーは出来るし、こんないい街は日本全国捜しまわっても見あたらないです。

釣り人や山菜採り人にとっても山と海が眼の前にあるのは好都合です。市場には新鮮な海の幸があふれて、うまいものは多いから主婦の立場からしても暮らしやすい街です。

あと教育施設について見れば、大学がもう少し欲しい気がします。

文化施設では、美術館、郷土資料館があればいいでしょう。

でも僕が一番言いたいのは公園の事です。小樽には小樽公園と手宮公園の2つしか公園がないのです。しかもその2つとも斜面に沿って作られたものであり、僕はやっぱり平坦地に一つ大きな公園を作るべきだと思います。

僕がもともと住んでいた仙台の街は、緑の街と言うキャッチフレーズを持っている様に、市街地のあちこちに市民がくつろげる空間がありました。

小樽の街を歩いてみて、意外にも市民の憩いの場となるような広場がない事

さてこれから、我等のロシア珍道中が始まるのである。

モスクワに到着した第一印象は、ケバケバしい所であった。

まずホテルは、ガイドが世界一と胸をはる、(ロシア人はとにかく世界一が好きである。)ホテル、ロシア。でその広さには驚いてしまった。

一緒についた、ある女の子などはホテルの中で迷子になってしまい二時間近く歩きまわり、やっと小生達に会った時など、泣き出してしまったくらいなのです。

とにかく同じ階を行けども行けども部屋にはたどり着かず階段を一階下りてまた登って同じ階の部屋に行くような変な作りで、自分が何階にいて、その北なのか南なのか全くわからなくなってしまうのである。

だから一階のレストランで食事だといつても、行き着くまでが大変なので

そのホテルの前には赤の広場がありそこはクレムリンや、聖ワシリー寺院があり、これらやネギぼうずの様な屋根をした塔が何本も建っている、それぞれが赤、黄、緑、金色などに塗られてお城である。

赤の広場は何も赤くはなく、クレムリンはレンガ色の塔の上に真赤で巨大な星がっついていて、それが夜空に燦然と放光を放っており、はなはだ大時代がかかっていて、いかにもロシア的だなと思わせる。

に気付きました。

元来、平坦地が少なく幅の狭い平地のベルトが横に延びている地形だからそんな広場が作りづらいは確かです。とすれば、あの幅45メートル、長さ15キロメートル(運河とその脇の道路)の空間が、市民の憩いの場として、さらに、他から小樽にやって来る人達のくつろぎの場として確保しなければならぬ。確かにモーターゼーションの風が増々激しくなる現状で、バイクで配達に走り廻っている僕も交通渋滞の酷いのは自動車の脇をスイスイ通り抜けていくけど)よりによって、小樽にとって一番大切な空間、小樽の個性を示しているあの場所を破壊することはないじゃないか。

配達先の先々で、店のおっちゃんに運河の事を尋ねると、「あんなきたない臭い所理め立てて道路にすればいいんだ。」と言う答えが返って来ます。

一面でももったもな堆積するヘドロ、激しく濁った水と、雑積するヘドロ、そこから発する悪臭はセンチメンタリズムを打ち砕いてしまふ。

とても情緒に浸ってはいられない。しかし、その運河の現状を嘆いて埋め立ててしまえと言っるのは、本末転倒というものだ。

昔は運河で泳いだり、釣りをしたりしたそうです。そういう清潔な状態を現在の不潔な状態にしたのは、生活排水

さてモスクワ第一日目の夜からとんだ事件が起こった。

社長(以下友人を社長と呼びせてもらう。)と小生が不本意にもいっしょの部屋にされ、日本人がホテルに着いて最初にすることは、「まず風呂に入ろう」である。

我等もそれに習い、お湯を入れ二人で入った。

「いや、やっぱりこれに限るなあ!」などどとすっかりいい気分になっていたところ、「桶がない!何かかわりになる物を持って来よう。」と叔が出でゆく。クズ籠を持って来た、「お、これはいいなク」と言いながら交代に湯舟に入り、湯舟の外で体を洗った。そのクズ籠を桶がわりにバシャバシャやっつたものだからたまらない!

ここで我等は西洋のバスと日本の洋風バスの違いを全く気づかなかった。

西洋のバスは湯舟の中からお湯をこぼさないでシャワーで洗うように出来ていて、バスルームの中には排水口などは無いのである。

そこにもってきて、我等二人は日本の洋風バスのつもとりに、あのクズ籠を桶がわりにバシャバシャやっつた。お湯はドアの下のすき間から排水されてゆき部屋中いや廊下まで大洪水である。

二人が「あーいい湯だったな!」ゴキゲンでバスルームを出た時にはもう後の祭りであった。

それから涙ながらにバスタオルでふいて水がひけるまでに一時間もかかった。

や企業排水をたれ流しにしたからであり、汚れるのにまかせておいて汚れるの最大の愚策です。

小樽市行政の怠慢を批判するとともにそれを放っておいた僕達小樽市民も反省しなければならぬと思います。

運河はこのままではだめです。きれいにしなければなりません。それは、まず運河に沈積したヘドロを浚渫して汚濁物をとり除きます。

次に運河に流れ込む生活排水は浄化設備に導き、微生物処理(活性汚泥法)し、水質汚濁防止法による環境基準値以下まで各項目(BOD・COD・SS等)濃度を下げ、処理水を運河に流します。企業排水は、各企業に浄化施設の設置を義務づけ、有害重金属や有機物濃度を基準値以下に下げさせます。そうして処理した排水を運河に流せば、自然の浄化作用で元のようにきれいな運河になるでしょう。

なによりも、あの運河と倉庫の建ち並ぶ空間は小樽の個性であり、小樽に住む人にとっても、心の安らぎを覚える場所にしなければなりません。

小樽の街づくりはそこから始まると思います。

しかし、さすがにロシアで、下には水が漏れない様にガンジョウに出来ていたので、大騒ぎにならないで助かった。

そうこうしている間にデザイナーの時間になり、我等は何くぬ顔をしてレストランにおりていった。

クツの底との格闘も終りほろ酔い気分ではつとしてい格闘も一緒に日本から来たバンドマンで何度もロシア公演をした事のある須田さんが、「実はモスクワに外国人目あてに女の子が集まって来る所があるんだよ。」と話し始めた。

さあ、それが社長に聞こえてしまったのだから大変クツ底との格闘をヒタツツとやめ、目つきが変わってきた。「しまった!」と思つた時にはもうおそい、小生の学友数々いれども、この社長たるやこの手の話には目がないのである。

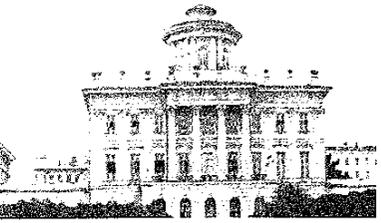
「どこだ! どこだ! どこだ!」と始まった。

「ロシアにはそんな事はないでしょう。」と小生、「いや、平和を願うおなこの心はみな同じ。人類みな兄弟じゃ! グラッ!」とまたおわけのわからない理屈を言いはじめた。

こういう時の社長はその奇想天外な理論をもって人々を圧倒するのである。さてどうなりますか、次号は「怪人社長モスクワの夜に死す」ですおたのしみに……

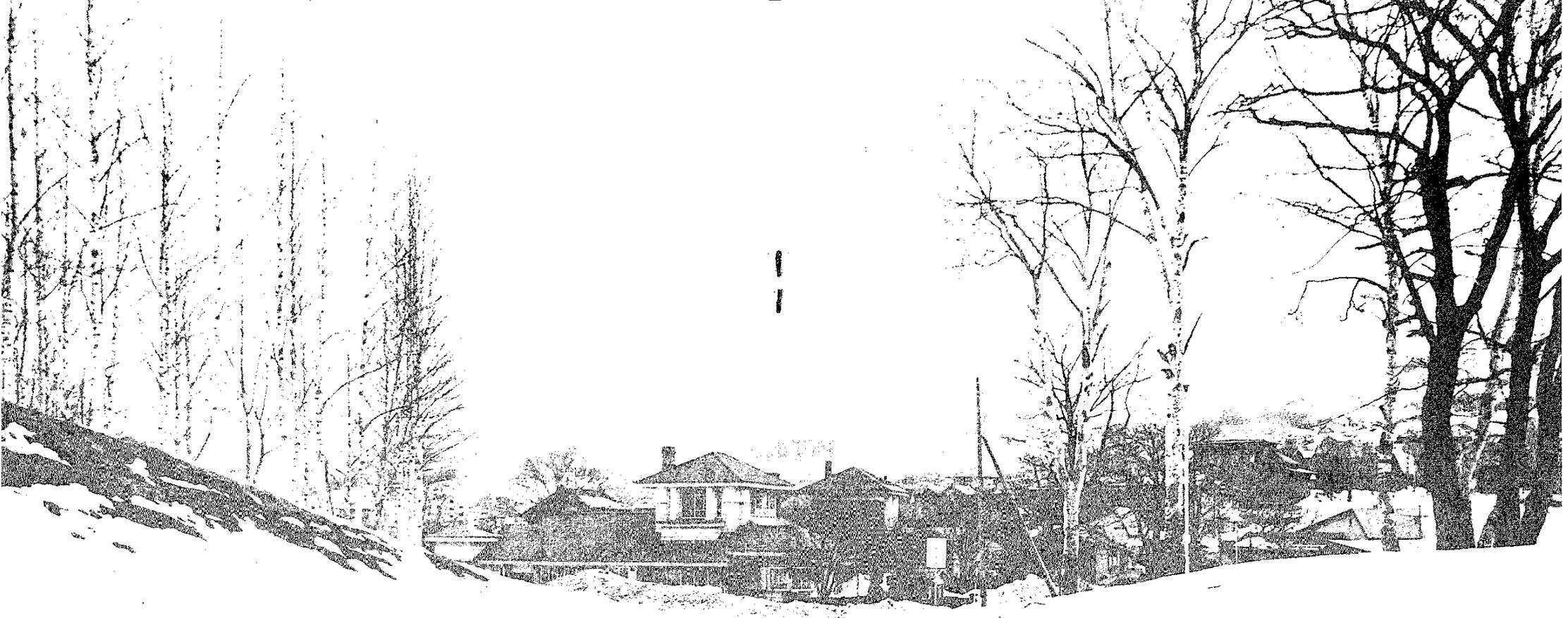
ロシア珍道中

その① 怪人“社長”登場!!



またまた目を熱くしているのがあった。小生は昭和二十年代、クツ底のステークを、もの十分くらいで征服してしまひ、ゆうゆうとクラスをかたむけていま、早メシ、早グソ、早〇〇〇の「日本快男児」である。

かたや小生の学友、日高のガス会社の長男で「社長」と友人達から呼ばれている「日本快男児」である。



この長い坂道を下りたら
子供の様に丸くなった
温たまることもない僕の背に
新しい上着を着せて
冷たくなった僕の記憶
温めていよう

陸地に乗り上げてしまった
僕たちの航海を
再び海の真ん中へ
連れ戻してやるために

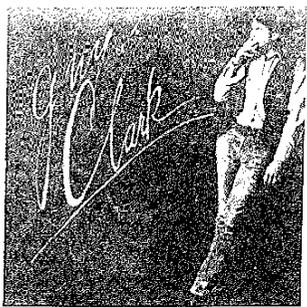
この長い坂道を下りたら
遠まわりばかりで疲れた
物語のない僕の一日を
いつも出会う小さな少女の
背中のランドセルの
白いハンカチのように
折りたたもう

忘れかけていた
小さな気づかいを
忘れかけていた
ひらがなを思い出すように



屋根の上のおろか者
GUY CLARK

ガイ・クラーク

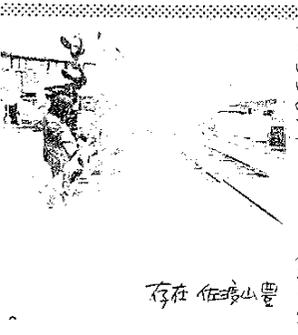


ガイ・クラークのアルバムが久々に
出ました。名作「テキサス・クッキン」
以来二年ぶりです。

近頃本当に男の心を歌える人が少
なくなりました。ジェリー・ジ
エフ、やジョニー・キャッシュ、など
まだまだテキサスの「男」を聞かせて
くれるヤツがいるっていうのは本当に
うれしくなっちゃいます。
男が弱くなったと言われている今日
此の頃、男の強さ、やさしさ、そして
それゆえの悲しみを何のてらいもなく
歌っています。

厳寒の地、北海道に生きる男達には
軟弱なシティ・ミュージックよりも灼
熱のテキサスに生きる男の詩の方が似
合っている様に思います。(Be)

僕のRecord collectionからの推薦盤 中 なるみの巻



『喜納昌吉&
チャンブルーズ』

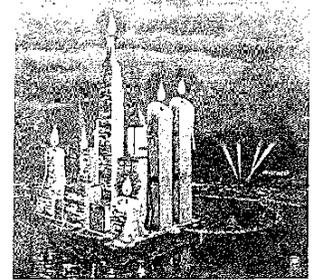
チャンブルーズ

沖繩三味線(シンセン)ののって昌
吉が歌いまくる、女性コーラスが囃し
立てる、すると沖繩の熱風が僕の足元
から頭の毛の一本一本にまでしみわた
る。心の中のモヤモヤさえも、力強い
リズム・セツションが木端微塵にして
くれる。
僕がチャンブルーズを初めて聞いた
のは、タモリのオールナイト・ニッポ
ンでなんだけど、それ以来一年以上狂
いつばなしなのです。
沖繩民謡とロックのクロスオーバー
なんだけど、何故かお座敷小唄のよう
な曲もあって少しも飽きがこないの
です。
自然と人間を愛し、権力と社会悪を
嫌う喜納昌吉こそ、僕の心の中の総理
大臣なのです。(たるみ)

『存 在』
佐渡山 豊

どんな立派な人生論より
生きながらえる事が肝心だろう...と
強く、弱く、弱く、強く佐渡山豊は唄
いまくる。
彼にとつてはレコードの売上げや、
ヒットチャートなどより自分の唄いた
いものを唄うという事が肝心のだろ
う。そしてどこまでも自分自身を、世
界全体をプロテストしているのです。
ややもすると、彼女のスカートが何
色だったとか、あなたの横顔が素敵だ
ったとか、どうでもいいような曲がテ
レビ・ラジオの電波に乗って重宝がら
れるという時代に、貴重な存在ではな
いかと思います。
ちよつと、長く書きすぎたけど、悪
く言えば「唄っちゃうらさきをモロに出し
口をとがらせて絶叫している若者」
そんな飾り気のない不器用さがとっ
てもいいのです。(たるみ)

シティ・ライツ
ドクター・ジョン



ニューヨークの下町に「アル中のジ
ョン」と呼ばれている男が居た。
大きなポケットにはいつもウイスキー
のビンを入れ、ホラばかりふりまくペ
テン師であった。酒を飲みながら男は
「俺はむかしハリウッドで医者をやっ
ていて、庭つきの大きな家に住んでい
たものだ」と、しわがれた声でつ
ぶやく。
また時にはニコリ笑顔でおとぼけの
ステップを踏んで、おどけて見せたり
もする。
ドクタージョン、ってそんなイメージを
持った男なんです。そしてこのレコー
ドは実にシャレた編曲と音作りで、酒
の臭いがアンプンするニューヨークの
夜のふんいきを伝えてくれます。
ひびきさのグッドミュージック。
(Be)

サラ・ボーン&オス
カー・ピーターソン
ビッグ4



サラ・ボーン
つい先日、テレビで彼女の日本での
ステージが放映されたので、見た人も
いるだろう。
ジョークを交えながらの歌は、又格
別だった。このアルバムでもそうだが、
年令を感じさせない歌は増々心に響き
過ぎて、最近僕は顔にシモヤケが出来
てしまった。
その歌をささえるバックミュージシャン
の、オスカー・ピーターソン、ジョ
ー・パス、レイ・ブラウンらの演奏も
聞き物だ。
ジャズマニアよだれをたらたら、評
論家ニクニク、猫はコタツで丸くなる。
最近、クロスオーバーな感じのジャズ
が多い中で、針を安心して落とせる快
心の一作だろう。(アニマル)

おやみみだどろ
時見楼
32-8937 おたる稲穂静屋通り

TORTAL FASHION LIFE STUDIAM
MIKI SELECTION
PRODUCED by MIKI PROJECT

山崎屋最大のマター・アニメ・ドラマ専門店!!
KOIEIDO
Rainbow Street, Otaru City. TEL. 23-5288

MATCH BOX
WINE POTATO COFFEE
OTARU SIZUYADORI
(TEL-23-9805)

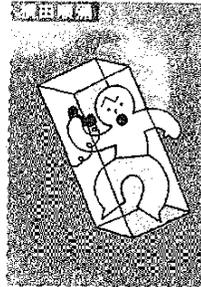
BOOKS

一冊の本が 深い眠りを……

横田順彌のハチャメチャSFはダジャレのビツクリ箱だノ

フイエスタ編集部から、今月の本の紹介を頼まれ、「ハイ」と返事をした後、しまったろと思ったが、もう遅い。ケチ編集部からは、本をかうお金は出ないのだ。しかたないと不機嫌な僕を、グチャグチャに笑いとばしたのが横田順彌の「脱線・たいむましん奇譚」（講談社・七九〇円）なのです。

脱線! たいむましん奇譚

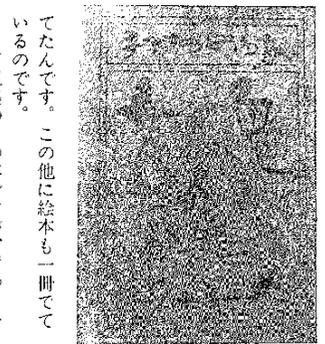


以前彼の本を何処かで読んだことがあって、それはたしかSFの短編で、月刊誌だったような気がする。この本は月刊誌に載った短編が九編ハチャメチャに収められている。どんな風にハチャメチャかと言うと、たとえば出てくる珍獣の名前がすごい。口が八つ、手が八つの植物「口八丁手八丁」とか

胴体百個に首一個の宇宙動物「百人一首」、スライムにしてかつおぶしをかける「死ぬ」、鬼の異星人「オニオンスター」など、こんなのが飛びだしてきて、そのうえダジャレの洪水の中を泳ぎまわるのだからクマラナイ。又、前編に出た主人公達が作者にやまかせられんと、対談調でSFを作っちゃう。「メグロの決死闘」などは彼の特別あつたえのパロディだろう。彼にかかると、ワイ談も、スペースオペラも、四畳半ドラマも、健康的なかわいた笑いになってしまう。とにかく面白い。精神安定剤的破茶目茶青想天外科学小説必読。

冬の寒い日、囲炉裏でもあったら、昔話を聞かせてやりたいな

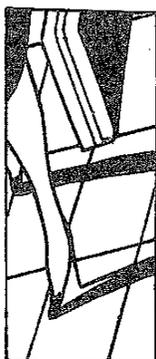
ハチャメチャSFの後に童話の紹介なんて、僕の頭の中がハチャメチャな証拠みたいのもんです。2冊目の紹介は「手がぎの童話集・女鬼」（作・今井篤之 絵・中畑ゆかり アテネ書房 八〇〇円）という本で、著者は江別市に住み、出版社も札幌市と生粋の道産子雑誌です。以前この本の一集を買って、とても気に入っていたのですが、ついつい本屋離れで気がついたら、もう五集までいっ



てたんです。この他に絵本も一冊でているのです。さて五集の本ですが、ずっと今井さんが使っている、話言葉が多く使われています。だかや冬のたんぼなんか出てくると、あの北風のひゃっこい感覚が、手の甲や、ほほにちくちくと、ささってくる。そんな物語りになつてくるんですよ。前書きにも書いてあるんだけど、「小さな声を出してよんでください」と、つねに。本当にそつすると、目の上がちくちくしてきて、ページのすきまから、炭で焼いたおもちの香りが、ぷく／＼としてきます。絵はモノクロなんだけど、ペン描きや、墨絵で、とってもめんどこらしみのです。最後にこの本は三つの話で構成されているんだけど、どの話も何か最後の一言が足りないような気がするんだけど、後でそれが頭の中で気がかりになつちやう。あつたか／＼くして、コタツの中で読んでほしいな。

旅に出よう

京の洛外 ジョギング旅行



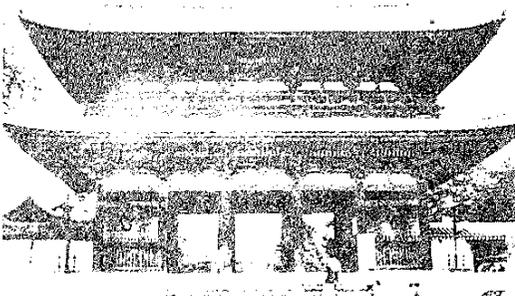
京都駅より市バスで約30分、御徳仁和寺前下車。バス停の名の通り、ここには御室山仁和寺がある。今日、紹介するのは仁和寺の裏山、「成就山」この山道沿い3キロに、88カ所のお堂が配置されている。四圍霊場の砂を持ち帰り、お堂の下に納めて開いたと言う事だ。

仁和寺の西門を出ると、2つに道が分かれている。道を左にとると、家並を一〇〇メートルほど歩くと「一番観音みち」の標が見えて来る。一番目のお堂、霊山寺、二番堂、三番堂も見えて来る。堂の大きさは、皆、二間四方。堂の中には、阿弥陀薬師、大日如来などなどの本尊と、大師像の二体が安置されている。

堂の前の地蔵には、何枚ものよだれかけが結びつけられている。又、「苦しまずに横渠へ」などと書かれた紙がお堂に貼られている。

少しずつ上り坂になる道を歩いて行くと、10〜20メートルおきにお堂が見えてくる。この霊場にはいろいろな御利益がある。巡礼道を一廻りすると厄除になると言ふ。また41番六角堂のお堂のまわりを子供の名前を唱えながら年の数だけ廻ると、子供のオネシヨが治ると言われている。

48番堂がこの山で、一番高い所に有る。このお堂を過ぎると、上り坂からなだらかな下り坂となる。65番堂近くもある。池の中にある68番堂、まるで金閣寺のミニチュアを見ているようです。この旅もだんだん終りに近づくにつれて、市中の音が聞こえて来る。88番大窪寺を過ぎると結願所の前になる。



2時間足らずの小旅行、どこへ行っても人間ばかりの京都の中で、こんなに歩いて4〜5人の人間としか出会わない、これが洛外の一帯の味わい深いところではないだろうか。

OTARU **ishii** 画材専門店

石井ガクブチ店

小樽市花園1 10 TEL 23-2492・32-4379

コーヒーの香りの中で別世界を……

アンティーク喫茶 **伊麻里**

おたる長崎屋東通りマルゼン2階 ☎0134-33-2340

がるひいせ **六ペンス**

3-5-1 HANAZONO OTARU PHONE 32-6984

カメラで家庭の日記を

カメラの**グラフ商会**

小樽市花園銀座 電話⑤2121

INFORMATION

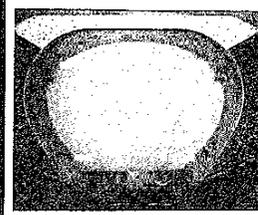
小樽の町を歩くときの生活情報

ウィンター・リーグはこれだ!!

長崎屋ゲームコーナー、松竹ボウリングゲームコーナーに置かれてある「ボール・パーク」と呼ばれるテレビ野球ゲームを君たちはもうやって見たかな。この2・3年テレビゲームの発達はめざましいんだけど、遂にここまで来たかと言う気がする。

何と言ってもすごいのは、直球、変化球などがコントロールにより投げられる事だ。テックニック次第によっては魔球だって投げられるのだ。

まず一〇〇円硬貨を一枚入れると、ベンチからホームチームの選手がトコトコと準備につきます。外野は手元のコントロールで左右に動かす事ができ、内野はボールが飛んで来ると自動に動いてボールをキャッチして一塁へもやるのだ。場合によってはダブルプレー君たちもやって見ない?

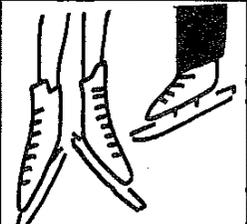


流行

まだまだテレビゲームには負けられないぜ



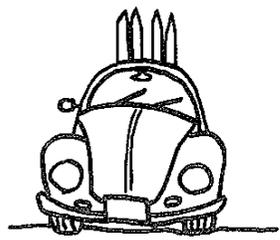
今、小樽で一番売れているピンボールの台は、東宝ゲームセンターに置かれてある「ボールキック」だ。そのユニークなポイント加算の方法は今までのピンボールには見られなかった新しい醍醐味を与えてくれるのだ。まずこの台のメインに当るのは、中央部にある円形のターゲットで、10万点が加算されるシステムになっている。ところがナカナカその上にはのつてくれない。もう一つの特徴としては、YOU R NUMBERのランプがフラッシュしている間は、スコア末尾の数字を黄色のボタンで変えられ、ゲーム終了時にこの数字がプレイフィールドの数字と一致すると再ゲームできるのだ。その他いろいろ面白いシステムを備えている。55万点めざしチャレンジしてみよう。



まっぴりグガツと踏んばれ

第4回 北海道・雪の祭典
今年で4年目を数える雪の祭典、今年にはニセコ比羅布スキー場をメイン会場に堂々の開催であります。期間は3月3日と4日です。キミも寒さに負けずグガツと踏んばって参加しよう。

「見よう」テレビマンガヒーローショー、花火大会、郷土芸能大会、歌謡ショー、ハンクグライダーショー、全国スキーファッシュンコンテスト、「滑ろう」小中学生スキー大会、全道歩くスキーの集い、SJA公認パッチテスト、スキーリフト無料サービス、「遊ぼう」道産子広場、遊覧馬乗り、雪中ゲーム大会、フアイヤーストーム「食べよう」食べ歩きコーナー、特産物コーナー。



特

どうしてだるう

小樽の冬と来たらスキーとなるけど2年前まではスケート場があったのだ。札幌真駒内に比べりゃ月とスッポンぐらいたけど、ちゃんと車道のリンクだったんだから……

どうしてなくなっちゃったのかいろいろ声はあるけれど、今じゃわざわざ札幌のそれも真駒内までじゃ行くまでに寒いし疲れちゃうし聞く所の話しによると、経営不振とリンクの整備にあたっていた人たちの都合だそうなんです。小樽にもスケートリンクくらいあってもいいじゃないか。

ト

彼は歩くビツクリ箱だ

今回は知人ぞ知る、知らない人は全く知らない名(迷)バンド、スターレスのボーカルをやっている大橋 哲くんについて見ました。



彼の口癖は「似合ってネエッテ!」でありまして、これは特に仲々良い感じのカップルに対しての場合が多い様です。これはスタッフの見解によりますと、彼のひがみ根性の表われであるとの結論に達しました。

まず最初に登場するのは、かの「男の殿堂」だった「マン座」のあとに出来た「パンの木」であります。ここのモーニングセットは、手作りのパン2個(ジャムとバターがはさんである)とサラダ、ゆでタマゴ、それとコーヒーでありまして、味も仲々のです。それに加え、何と300円と言うお値段!もってけドロボロ!

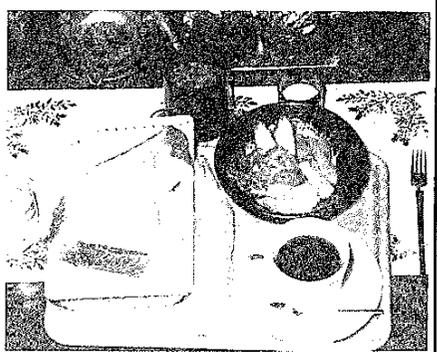
安さでお涙頂戴のモーニングであります。時間は9時半~1時まで、他に手作りのチーズケーキなんかもあったりして、メニューも豊富な店であります。



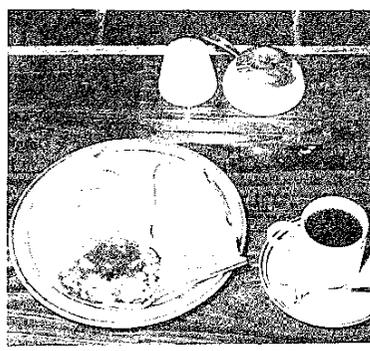
今のバンド、スターレスとしては、とにかくいろいろな曲(テイスコから歌謡曲まで)をやりたい。その場に合った音楽を目指すと云う事ですね。彼のガンタラも仲々のものです。好物は肉と野菜、酒と女。特に後者の2つは好きでしょうがないと自他共に認めるほどであります。1月9日で19才になったばかり、若いってイイネエ。

特

これは朝メシ前だ!



次に登場めざるのは、開店ホヤホヤの新種、「マーサ&ターナー」であります。ここのモーニングには名前がついておりまして、その名も「マーサセット」と「ターナセット」、マーサの方はミニハンバーグとサラダ、パン、コーヒー(デミカッフですぞ)でして、ターナの方はハンバーグの代わりにハムエッグが付くのであります。値段は両者引き分けの450円です。時間は10時~1時まで、遅刻厳禁! この店はニューフェイスゆえ、健闘を祈るものであります。場所は稲穂町の北川眼科の向かいです。



最後に登場は「マッチボックス」であります。ここの開店時間は11時なのでモーニングと言うよりランチと言った方がいいかも知れないけど、その分2時までがサービスタイムだから、得とも言えますぞ。

その内容は、ハンバーグ、サラダ、イモ料理(フライドポテト等)、トースト、コーヒーorコーラでして、占めて400円/仲々ボリュームもあって朝食にはビツクリです。

この他にもチーズサンドセットもありまして、こつちも仲々の350円。2時以降も50円増ではあります。同じ場所が食べられるんです。そしてあのアップルのとなりなのです。あなたの家のそば、学校のそばの喫茶店のモーニングも紹介して下さい。

女子のはたちの旅立ち



「メイト・イン・ホッカイドウ・小樽より愛をこめて」と題した全道4ヶ所ロックアップは、2月1日帯広を皮切りに、2日釧路、5日函館、8日苫小牧で行なわれます。

小樽に続いていろいろな地域で若者の街づくり運動が芽ばえ始めています。この全道ツアーを通じてさらにもう一步踏み出そうという事です。

彼女に札幌に勤める、とある有名会社のOLで、我々のインタビュに心快く応じてくれました。晴れ着を着たのは今回で3回目だなんて言っていました。どうして、どうしてその魅力にはスタッフ一同、負けず！

彼女に言わせると「着物を着ると身がひきしまる様な気がします。でも、おながすいても帯がきついで、食べたい物も食べれないのがつらい」と可愛いわさべのぞかせた。まだまだ色気より食い気と言った所ですなア！

コンサート ガイド 2月

「続・ぼくたちからのあいさつ」
15日 PM.7:00~
 出演 熊谷ひとし・下村実・鈴木良作・矢野和ひろ 他

「ブック・ストリート 79」
 ダウンタウン「ギョギバノド」
18日 PM.6:00~
 主催 音楽鑑賞協会 (22-5513)

LIVE 唄長屋

14日
 詳細不明のために、これ以上書けません。直接「一匹長屋」へ夜でもいってね!!

市内のアマチュア・ロック・バンド「キャプテン」と「オーバー・ナイト センセイション」が3月の中旬に市民会館大ホールでコンサートを聞きます。2つのバンド自身が主催で光栄堂とM.A.K.が後援です。ゲストに「ストレイタス」と「ブランク・ウイドウ」を予定しています。ここで彼らのメッセージを紹介しましょう。

「このコンサートを最後に解散するので、悔いのない様に精一杯がんばります。」(鎌田光一・キャプテン)

「カルメンマキ&OZ風なハードロックを聞かせます。」(青木秀一・オーバーナイトセンセイション)

水前寺 清子

17日 PM.1:00~
17日 PM.6:00~
 主催 民音 (54-7193)

商大室内管弦楽団10周年記念演奏会

3日 PM.6:00~
 主会場は「7ラッシュ」
 副会場は「7オーマル」
 出かけてなキャネ。

市民劇場
24日
25日
 大人 800円
 小人 200円
 市民会館

福村直己
 講演会
16日
 大人 300円
 小・中 無料
 主催 青年会議所
 市民会館

「新入学おめでとう大会」
10日
 入場無料
 PM.1:00
 市民会館



先月の1月15日、苫小牧市民会館大ホールで、グループZ E R O の1ST コンサートが300人を集めて大成功に終わりました。これを契機に苫小牧にも夢の街づくり実行委員会が出来たそうです。現在構成員は30名位。どうぞですが、小樽の夢街ともども地元文化の向上をめざして活動を始めたいと、連絡先 居酒屋「土蔵屋」
 住所 苫小牧大町一の一
 TEL 36・0955

みしま基光 個展
 小樽運河
 2月10日(日) 14時~18時
 午前11時~午後7時迄
 大岡屋テハート 5階ホール

10年間振り続けて来た小樽運河の総集編。四季おりおりの光に包まれて変化化する小樽運河の表情を見ていただきたい。この個展を記念して最近作の小樽運河6ヶ月プリントを特別に限定販売します。

幻視舎シネマ・テーク 映画上映案内

金井 勝 映画王国
 自主制作映画運動のはりとして注目された傑作！
 「無人列島」 54分 69年
 (主演) 田知美、佐藤重臣
 金井 勝

スイスのニヨン国際映画祭グランプリ受賞作品
 「王国」 1時間24分 73年
 (主演) むさび童子、大和屋登
 佐藤重臣

2月24日(日)、25日(月) 稲穂倶楽部
 PM.6時30分上映
 前売り700円 当日900円

幻視舎通信
 道内初本格的自主制作映画
 「赤い花なら地平線」中島洋監督
 3月末 小樽公開予定

NATO JEANS SHOP

小樽店
 ☎22-3031

手稲店
 ☎683-5362

助六の力
 OTARUSHI HANAZANO. O-O.
 TEL. 52. 2442.
 BEER. 4. 00.
 DANER. 3001. 7. 4. 303

December 3

この冬アルパカセーター(ペルー製)を着てみませんか!
 INAHO2-11-3 TEL0134-22-9973

飲み処 みくらチェーン

- 若松「みくら」
- 稲穂「パール」
- 嵐山通り「おとずれ」
- 手宮「琴」

全店女性募集 TEL 23-1880

PICK UP

白夜の国に 小樽の灯りを

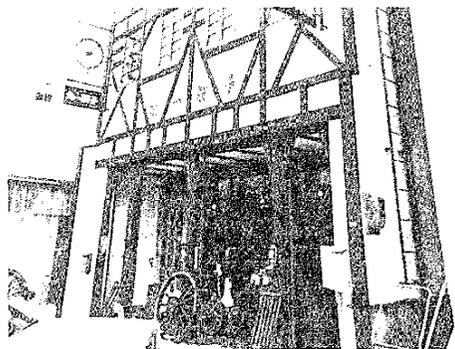
小樽と言う街は、人間の感覚として
はごく近代的、でも何かやるとなると
慎重になり過ぎる見たい。ところが
一度動き出すともう凄いものがある。
今の時期は大きな変遷の時期かも知れ
ない。そういつた中、北一硝子の北歐
輸出のニュースが入って来たので、さ
っそく取材に行つて来ました。



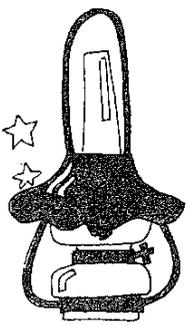
事の起こりは、北一さんが2年前、ロンドンでのガラス工芸の世界会議に出席した際、ガラスの勉強でデンマークに住んでいる日本人から、北欧のデンマークやスウェーデンの人達を紹介してもらった事から始まる。
でそのデンマークに住んでいる人が仕事上日本の伝統工芸品を世界各国(おもに北欧諸国)に輸出していると言ふ事で、この前の12月に東京に来た時に小樽に足を伸ばして来て、そこでいい機会なので北一硝子の製品を持って行ったと言ふ事だそうである。

今回持つて行ったものは、電球の傘とか、一般家庭用の食器、あと皿皿のようなテーブルウェアなんかが多いそうです。最近ではハンドメイドのもの、本物が本物として認められて来ていると言つてもいいでしょう。

最近、新装開店となった北一硝子の建物も、北欧風のエキゾチックさなんかの現われが、北一さんの北歐思考み
たいなものかも知れません。
「今はいろいろな面でもヨーロッパ的なものになって来ていると思えますね。古い建物でも小樽の運河や倉庫付近ばかりじゃなくて、気を付けて見ると、普通の民家でもヨーロッパスタイルが見つけられますよ。」
「経済的なものについては、日本は非常に進んでいますが、物の考え方は、北欧と言ふかヨーロッパの方がずっと進んでますよ。特に余暇の問題、余暇を十分に楽しむんだ、だから必要以上の金儲けなんかはしない、という考え方は、北一さん。」



今度はヨーロッパの話しを聞きに別の取材で来ようかなんて考えたりして、「ウチの店もいろいろ投資商論ですけども、楽しい街づくりの一つになれば」と思っています。
「今回の事は、ウチの製品なんかは、情報、つまりTHINK TANKから成り立っているんです。だから一人一人のお客さんの意見を取り上げて行こうと言ふ事で、ヨーロッパの意見も、と言ふところですね。」
とにかく、小樽の外に目を向ける意味で、海の向こうにも目を向けようと言ふ事ですよ。今年はやりますよ、皆さんの期待している様な事をやって見たいでしょね。あらゆるチャンスをとんとん積極的にやった方がいいですよ。今年はやると言つた北一さんの目の輝き、何が起こるかどう御期待!



☆ ☆ ☆
君のまわりにも
ホットなアイデアが
ニョースがあらはら
知らせてね!!

まち・みせ・あじ

三四郎

小樽の飲んべえ連中の活力源、ホルモン焼と成吉思汗の「三四郎」は、花園浮世通りに…… あつた、うっかりしてると見過しちゃうのだ! ちよつと奥の方に入っている所がありました。

この「三四郎」に我々スタッフが取材に行つたところ、このオバチャン(本名 前林ユキ子さん)が、「ダメ、ダメ」の連発で本当に取材を拒否しているのかと思つたら、オバチャン、テレてるのですよ。ここらあたりあの年してかなりカワイイかったです。

このオバチャンがこの店を開いてからもう11年にもなるそうで、このキャリアこそ本格派のたれやいい肉を出せる訳なのであります。

オバチャンに話を聞いて見ると、この焼肉は本当に精がつくみたいで、鼻血出して帰つた客もいるんだと、それにオバチャンはかなり主観的に、この店やつて、「お客様は神様です。」なんて全然思つてないから、酔っぱらつてあんまりわからん事言つと、オバチャンに焼肉の代わりにケンカ売られる事になるから注意!

この前も一戦交えたそうなんです。言つても恐い人じゃなくて、要するに客と店の者という関係である前に、人間と人間との心のふれあいをモットーにしているのであります。リップス!

オバチャンが、「カアサン忙しいのさらい。」つて言つてたけれど、一度このオバチャンに会つてみてよ。

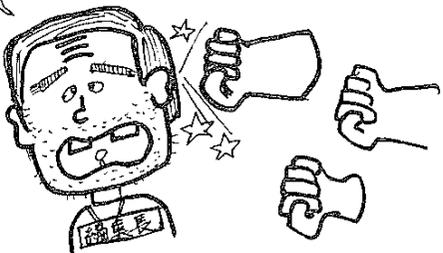
面白い昔の話なんかも聞けるし、うまい焼肉食つて精もつくし最高デスゾ。おすすめメニュー、ホルモン 250円 成吉思汗 350円、レバ刺し 豚 300円、牛 400円などなど。ビール、酒、焼酎もあります。



営業時間 PM 11時 - AM 6時迄

肉談直撃

読者の声



ふとしたきっかけで目にした雑誌ですが、写真やイラストが盛り沢山で、とてもユニークだと思えました。銭湯めぐりなんか興味深いと言ふか楽しく読ませてもらいました。これからはインフォメーションなど珍らしい事が沢山載るよう期待しています。

「ふい、えすた」創刊号を読ませていただき、昨夏夏「ポトフエステイブル」の「夢の街づくり実行委員会」の若者達の意気を感じ、彼らの活躍に期待すると共に、編集者諸君のますますのガンバリをお願いします。(市内・頑固翁)

ワイーイ! おもしろくなかったぞー読み物満載、イラストゴッチャリヌード写真が売物つて聞いたのにまあこの次はガンバレ!
(赤頭巾ちゃんのお父さん)

諸君らの雑誌に対する熱意と思想には、全く驚かされる思いです。これからの諸君らの現実を直視する眼と持ち前の行動力で、明日の文化都市、小樽のリーダーシップとなつてもらいたい。
(滝原物産 常務)

関見募集
働くお母さんのために、産休明けからの保育をしております。
どんぐり共同保育所
長橋2-18-12
TEL 32-8935

創刊号の編集後記のつておりました、「小樽郵便局 私書箱一号迄」と言ふのは、冗談ではありません。夢の街づくり実行委員会の所有の私書箱です。気軽に御意見、御希望をお寄せ下さい。(編集部)



圖書十四年十月十日出版 三聯書店發行 定價：每本一元二角 每打十二元 郵費在內